

平成24年1月30日

東日本大震災における広島大学の対応について

第24回学長定例記者会見（平成23年12月20日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

- 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

3月12日（土）第1班を派遣し、1月30日（月）現在までに37班、延べ1,197名を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2名（うち1名は救急医）、診療放射線技師1名、看護師1名、事務職員2名の計6名で、第13班（4月28日出発）以降は一旦、3名体制としましたが、第19班（5月20日出発）から3～11名体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、11月からは、看護師も順次派遣しています。

(2) 他機関の依頼による派遣について

- 看護師派遣（広島市被災者支援ボランティア本部）
福島県相馬市内の仮設住宅集会所などへ看護師を派遣
 - ・ 12月17日（土）、18日（日）バイタルチェック
（保健学研究科：教授）
 - ・ 1月7日（土）、8日（日）バイタルチェック
（保健学研究科：教授）
 - ・ 1月14日（土）、15日（日）バイタルチェック
（保健学研究科：教授）

2. 放射線量等測定支援関係について

(1) 文部科学省の依頼により、自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門では、ポケット線量計を屋外に設置し、4月12日(火)から測定・報告を行っていたが、文部科学省からの通知により、12月27日(火)を最終測定日として測定を終了した。

なお、12月28日(水)文部科学省から最終の測定結果および今回の公表をもって大学、高等専門学校による測定を終了したと公表した。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根

TEL : 082-424-6011